

2022. 10. 20
< 配信枚数4枚 >

報道関係者 各位

**【3年ぶり対面開催】海外18カ国・地域から約200人の高校生が日本へ集結
科学・技術をテーマに英語で発表やワークショップを実施
国内最大級の高校生国際科学フェア「Japan Super Science Fair 2022」を開催**

立命館高等学校(京都府長岡京市、校長:東谷保裕)は、海外18カ国・地域から約100人の高校生と、国内の約100人の高校生が集い、科学・技術をテーマに英語で発表やワークショップを行う、国内最大級の国際サイエンス・フェア「Japan Super Science Fair 2022」(以下、JSSF2022)を、11月1(火)から5日(土)に開催いたします。2003年から国際的なサイエンス・フェアを継続して開催しており、今年が20回目となります。また、3年ぶりに世界中の高校生が日本へ来日し、対面で開催いたします。



地球規模の問題が深刻さを増すなか、問題を解決するための科学・技術の発展に加え、国境を越えて協力関係を作りながら研究を進められる科学者の育成が急務となっています。昨今の海外での科学教育は、最先端の環境で高度なエリート教育や研究活動が行われています。一方、日本の初等中等教育における科学教育は、国際化という点においては、英語運用能力を課題として大きな遅れを取っています。

本校では、生徒自身の英語運用能力伸長に向けての意識を高めることが科学教育においても重要な課題と認識しており、科学教育に加え、“海外の生徒と科学研究活動を共同で行えるレベル”の英語教育の充実にも取り組んできました。JSSFは、高校生が独自の視点で、サイエンス・フェアを作り上げることを通して、将来、科学者となりうる高校生の国際的なリーダーシップを育成することを目的に実施しています。

JSSF2022では、参加高校生による研究発表に加え、学校や国を超えたチームでグループワークに取り組み、多様な課題に挑戦します。さらに、20回を記念した特別イベントや最先端の研究・開発に取り組むグローバル企業や大学研究室の見学なども行います。

記

日時：2022年11月1日(火)～5日(土)

場所：立命館中学校・高等学校(京都府長岡京市)

立命館大学びわこ・くさつキャンパス(滋賀県草津市)他、京滋近郊での校外学習

その他：取材をご希望の方は、通訳手配等の準備がございますので、10月31日(月)12時までに以下の連絡先にご連絡ください。教員や参加者等へのインタビューの設定も対応可能です。

以上

本リリースの配布先: 京都教育記者クラブ

●取材・内容についてのお問い合わせ先

学校法人立命館広報課 担当: 名和

TEL.075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsumeikan.ac.jp

別紙

1. 『Japan Super Science Fair』とは

立命館高等学校が主催する国内最大級の国際科学フェア。毎年、世界約 20 カ国・地域の海外理数教育重点高校や国内スーパーサイエンスハイスクールを中心に、優れた理数教育を実践している高等学校からの 200 人を超える生徒が集い、5 日間にわたりさまざまな企画を通して交流を行う。

参加者たちが、①科学で世界に貢献するという使命感をもつこと、②将来、科学技術研究における国際的ネットワークの基盤を構築すること、③将来、国際社会で活躍する科学者・技術者としての夢を膨らませることを目的とし、また、参加校においては、相互の連携を強め、各校の科学教育の発展に寄与することを目的として、2003 年にスタート。今年で 20 回目。

2. 開催に至る経緯

本校は、2002 年度より文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール(SSH)の指定を受け、スーパーサイエンス(SS)コースの生徒を中心に、新しい科学教育に取り組んでいる。最大の特徴は、探究型学習スタイルを教育の重要な柱とし、全員に課題研究(自ら課題を設定して研究を行い、解決に取り組む。生徒たちは全員、最終的には卒業研究としてレポートを作成する)を課している点である。

2003 年、課題研究の成果を発表する高校生模擬学会を計画していたところ、オーストラリアの学校から参加希望があり、第 1 回目の国際フェアの開催となった。初年度は、海外校 1 校、生徒 8 人、国内校 2 校だけの小さな企画としてスタートしましたが、以降、その趣旨に賛同した海外のトップ校からの参加が毎年増え、現在の規模に至る。2020 年、2021 年はコロナ禍のためオンライン開催としたが、今年は 3 年ぶりに対面で開催する。

3. 『Japan Super Science Fair』の特徴

- (1) 毎年、海外から 30 校程度が参加。ほとんどが各国・地域のトップの科学高校(※)。
- (2) 研究発表はコンペティションでなく、科学交流を目的にしている。将来に向けて意識を高め、ネットワークを築くことが目的であり、研究内容に優劣はつけない。
- (3) 使用言語はすべて英語。期間中、海外参加者のアテンドは本校生徒が行う。
- (4) 企画・運営は本校の生徒が実行員会を組織して中心に行う。
- (5) 大学教員やグローバル企業の協力を得て、最先端の科学技術に触れることができる。
- (6) 参加教員全員で生徒全員を教育する意識を共有し、教員間の強いネットワークを築いている。
- (7) 開催後も生徒同士の交流は続いている。

※ 参加校:海外からは Korea Science Academy of KAIST(韓国) / Mahidol Wittayanusorn School(タイ) / NUS High School of Mathematics and Science(シンガポール)などの世界的にも有名な英才理数教育重点校をはじめ、アジア(中国、インド、台湾、フィリピン、等)、ヨーロッパ(UK、オランダ)、アメリカ(アメリカ、カナダ)、オセアニア(オーストラリア)からの参加を得て開催します。

4. 2022 年度の概要と主な取り組み

- (1) 日時 :2022 年 11 月 1 日(火)～5 日(土)
- (2) 場所 :立命館中学校・高等学校 (京都府長岡京市)
立命館大学びわこ・くさつキャンパス(滋賀県草津市)他、京滋近郊での校外学習
- (3) 参加者内訳

	参加国・地域数	参加校数	生徒数	教員数
海外	17	25	86	42
国内	1	9	24	12
立命館		1	90	—
計	18	35	200	54

(4) 主な企画内容

◆科学研究口頭発表

各国の代表生徒が、サイエンスに関する研究発表を個人もしくはグループ単位で行う。1チーム15分間。今回は、ロボットや環境などの分野で約35本の発表が行われる。本校からは、「効果的な人工リーフの形状の考案」「ゲル法を用いた結晶の形状操作」等、数本の発表を行う予定。

◆ポスターセッション

生徒が自身の研究を英語ポスターにまとめて発表。口頭発表と違って多くの人から参考になる意見を聞くことができ、参加者同士の相互交流が行われる。今回は約80本の発表が出品される。

◆Science Zone(サイエンスゾーン) 課題解決型ワークショップ

参加者の興味に応じて、6つのゾーンに分かれて国や学校の枠を超えた4~5人でグループを作る。ゾーン毎に大学の先生や参加海外教員から「消臭のためのマスクング技術」「ロボットは人間の感情が分かる?」「工学は面白い!」等、また、ローム株式会社による「電子回路」を題材にした活動等を行う。発表・提案を行い、お互いに競い合いながらも、協働作業を経験する。将来の国際プロジェクトの模擬体験ともいえる。

◆Science Talk(サイエンストーク) 科学特別講義

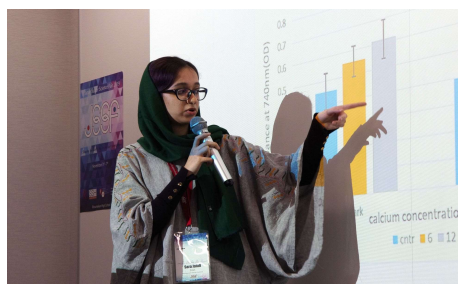
科学を楽しく学ぶ講義。京都大学、大阪大学から講師を招き、最先端の科学について学ぶ4つの講座が用意されている。

◆Cultural Performance 文化発表

参加者がお互いの国の文化を知ることが、将来、協働する際に大きな影響を与えると考えられる。こうした観点からフェア期間中には各国の文化を発表しあう機会を設けている。

◆企業・研究室見学

京都のグローバル企業である株式会社ユーシン精機と、立命館大学、京都大学、京都府立大学の研究室見学を行い、最先端の研究・ものづくりに触れる機会を設ける。



(5) スケジュール 《添付のスケジュールをご参照ください》



Japan Super Science Fair 2022

Day 1	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
Tuesday Nov. 1st 11月1日(火) 立命館高校	Breakfast 朝食	Transfer 移動	Opening Ceremony 開会式	Special Lecture 記念講演	Icebreaker アイスブレイキング	Lunch 昼食	Science Project Presentation 科学研究口頭発表	Science Discussion ディスカッション	Dinner 夕食	Transfer 移動				
	Teachers' Meeting													

Day 2	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
Wednesday Nov. 2nd 11月2日(水) 立命館高校	Breakfast 朝食	Transfer 移動	Science Project Presentation 科学研究口頭発表	Break	Science Talk 科学講義	Lunch 昼食	Science is Fun! 科学ショー	Science Showdown 科学コンペティション企画	Dinner 夕食	Transfer 移動				
	Teachers' Session													

Day 3	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
Thursday Nov. 3rd 11月3日(木・祝) 立命館高校	Breakfast 朝食	Transfer 移動	Project Poster Exhibition ポスターセッション	Lunch 昼食	Cultural Performance 文化発表(ブース)	20th JSSF Special Event 20回記念企画	Orientation	Dinner 夕食	Transfer 移動					

Day 4	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
Friday Nov. 4th 11月4日(金) Kyoto、立命館大学(滋賀)	Breakfast 朝食	Transfer 移動	Industrial Tours 企業見学	Excursion 校外研修	Dinner/Shopping 夕食/買い物	Transfer 移動								

Day 5	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
Saturday Nov. 5th 11月5日(土) 立命館高校	Breakfast 朝食	Transfer 移動	Science Zone 科学ワークショップ	Lunch 昼食	Cultural Performance 文化発表	Closing Ceremony 閉会式	Farewell Party フェアウェル企画	Dinner 夕食	Transfer 移動					